

# 【事例発表資料】多面的機能支払交付金の取組状況

## 1. 組織の概要及び取組事例

活動組織名	八宮地区環境資源保全会			市町村名	白石市															
取組開始年度	19 年度～	構成員	農業者	147 名																
			非農業者	49 名																
			団体	4 団体 <small>(主な団体) 農業生産組合・子ども会・婦人会</small>																
認定農用地面積	田	85.6 ha	畑	19.8 ha	草地	- ha	計	105.4 ha												
平成 26 年度 交付額	農地維持支払交付金			2,965 千円																
	資源向上支払 (共同活動)			1,755 千円																
	資源向上支払 (施設の長寿命化)			千円																
② 地域の概要	本地区は白石市の北部に位置し、農用地は標高 50～400mの中山間地域に散在している。																			
② 活動目標と 実践	<p>組織は 4 つの自治体と法人化している生産組織と連携しながら、農用地及び農業用施設の保全・維持管理を行っている。</p> <p>(1) 地域環境を整備し農村作りを目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・用水路・農道等の整備・・・従来より実施</li> <li>・4 地区花作り運動の展開・・・集会施設・こけし村・農道等周辺</li> <li>・次世代 (子供達) と 自然を楽しむ運動の展開・・・水生生物観察会、環境浄化ポスターの掲示</li> </ul> <p>(2) 全戸参加型作業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全戸当番制により、年間活動スケジュールを設定し、当地域の環境整備を図る</li> </ul> <p>(3) 遊休農地の防止</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年度毎に優先順位を決め荒廃農用地の発生を防止する</li> </ul> <table border="0"> <tr> <td>※平成 24 年度</td> <td>ひまわり畑に転換</td> <td>30a</td> </tr> <tr> <td>※平成 25 年度</td> <td>ひまわり畑に転換</td> <td>10a</td> </tr> <tr> <td></td> <td>はす田に転換</td> <td>15a</td> </tr> <tr> <td>※平成 27 年度</td> <td>はす田に転換</td> <td>15a</td> </tr> </table>								※平成 24 年度	ひまわり畑に転換	30a	※平成 25 年度	ひまわり畑に転換	10a		はす田に転換	15a	※平成 27 年度	はす田に転換	15a
	※平成 24 年度	ひまわり畑に転換	30a																	
※平成 25 年度	ひまわり畑に転換	10a																		
	はす田に転換	15a																		
※平成 27 年度	はす田に転換	15a																		
③ 今後の課題	<p>(1) 農用地の荒廃化を防止する対策については、ひまわり畑・はす田に転換しているが 1 年目の雑草は多発するため、その処理に苦慮している</p> <p>(2) 農業の高齢化が進んでいる現況の中で、地域環境を維持するためには老若男女参加型「たすけあい運動」を推進したい</p> <p>(3) 新たな企画としてトンボ・ホタルの里作りを検討したい</p>																			

## 2. 取組の写真



① 草刈り作業



② マリーゴールド・サルビアの植栽



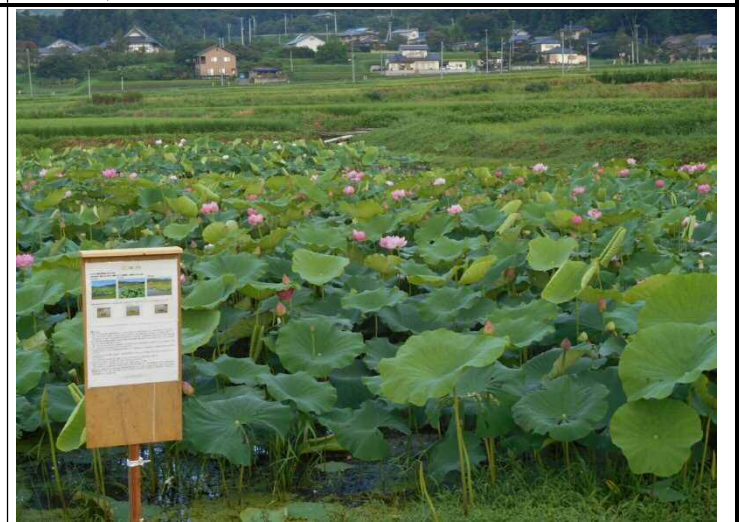
③ 子供会を招き水生生物観察会



④ 環境浄化ポスターの掲示



⑤ ひまわりの植栽



⑥ はす田の状況